



# お産&子育てサポート

発行・編集  
お産&子育てを支える会  
代表 齊藤智孝  
編集者 東直美  
TEL/FAX 090-7103-2240



## 不妊治療に朗報？ 着床前検査



近年、「不妊治療での妊娠です。」という妊産婦さんによく出会います。医学的に不妊症とは健康な男女が一定期間(約1年)避妊をせずに性交しているにもかかわらず、妊娠に至らない状態のことをいい、男女共に年齢が上がるにつれて妊娠する・させる力が低下します。以前は約10組に1組のカップルが不妊であるといわれていましたが、最近は晩婚化により妊娠を考える年齢が高くなり、不妊症のは増えていると考えられています。国立社会保障・人口問題研究所が2015年に出した報告では、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)夫婦は18.2%で、カップルの5.5組に1組が不妊症と考えられ、単純に約2倍になっています。このままいくと、不妊治療での妊娠が自然な妊娠を上回り、生殖医療が大繁盛になってしまうのではと危惧します。



不妊症にはいろいろな原因があり、その原因によって治療法が変わってきます。通常の不妊治療で妊娠できず、体外受精、顕微授精と高度生殖医療になる場合も珍しくありません。1978年に第一号の試験管ベビーと言われた体外受精児が誕生してから、32年後の2010年には400万人が生まれており、ごく普通の不妊治療になっています。しかし、それによる成功率(妊娠率)は平均20~30%と言われており、数回の体外受精を繰り返すのは珍しくなく、年齢が高くなるにつれ流産となる割合が高くなるそうです。

その残念な流産を防ぎ、成功率を上げるために、日本産婦人科学会は受精卵を2回以上子宮に移植しても妊娠しない人や、流産を2回以上繰り返した人を対象に、体外受精した受精卵の染色体に異常がないかを調べる「着床前検査」を認めるとした実施基準をまとめたそうです。来年4月以降認定施設で受けられるのです。不妊治療で悩むカップルには朗報といえますが、命の選別や優性意識につながるのではと懸念する声も出ているそうです。命とは何なのか?正常以外は否定されるのか?重要な問題であり、慎重な対応が必要だと思えます。



## お産の特集 part.5

お産の痛みの緩和法として part.4では暖めたり、体位を変えたりすることで痛みを和らげる事ができることを説明しましたが、今回は薬を使う無痛(和痛)分娩について取り上げました。

コロナ禍で出産事情が大きく様変わりしています。出産時の家族の立ち会いや入院中の面会が禁止され、孤独の中、出産、入院中を過ごさなくてはならなくなっています。コロナ禍で出産を経験された方は心細く寂しい思いをされたことと思います。

そのようななか一つの変化が、お産そのもので起こっています。独りで陣痛の痛みを乗り越える自信がない、心細いし嫌だ、等々の思いからか、無痛分娩を希望する方が少しずつ増えているようです。

「痛みを感じずに赤ちゃんを産める」なんて有り難いこと!!でしょう。

でも本当に痛みが無くなるのでしょうか?ちゃんと産めるの?赤ちゃんへの影響はないのでしょうか?等々の疑問はありませんか?



## 無痛分娩とは

「無痛分娩」の名称が一般的に使われていますが、その漢字の意味からだとは「痛みが無くなるお産」と理解してしまいがちですが、実はそうではないのです。正確には「和痛分娩」が正しいと思います。「痛みを和らげるお産」の事なのです。

「楽に産めた」という方から「全然痛みが無くならなかった!」と言われた方まで色々なのです。

### 無痛(和痛)にする方法は?

一般的に麻酔で痛みを和らげます。麻酔の投与方法は、主に「硬膜外麻酔」と「点滴麻酔」という2つの方法がありますが、硬膜外麻酔が一般的に使われています。

**硬膜外麻酔**とは、背骨の脊髄に近い場所にチューブを入れて麻酔薬を注入する方法で、麻酔薬の影響が母子ともに少ない点から、無痛(和痛)分娩で一般的に使われる方法です。背骨の脊髄に近い場所にチューブを入れて麻酔薬を注入します。





痛みを伝える神経である脊髄の近くに麻酔薬を投与するため、硬膜外麻酔は痛みをやわらげる効果は強いのですが、意識は分娩の最後まではっきりしていて、赤ちゃんへの影響はほとんどないといわれ、良いことばかりのようですが、そういうとはいえません。

### 硬膜外麻酔時におこりやすい副作用

低血圧・・・背中の中神経には血圧を調節する神経が含まれており、その神経への影響により低血圧になりやすい



足の力が入りにくくなる・・・ほぼ歩けなくなる  
尿がだしにくい・・・尿をしたい感覚や、尿を出すための神経が麻痺する。

体のかゆみ・・・硬膜外麻酔に医療用麻薬を組み合わせる影響。

体温の上昇・・・子宮の収縮に伴って代謝が高まるが、痛みを感じないので母体の呼吸が速くならず、熱が身体の外に放出されにくいことから。また、何らかの炎症の可能性もあり。

神経障害・・・硬膜外麻酔は、脊髄の近くにある硬膜外腔という場所にカテーテルを入れた時に神経の一部にあたったり傷つけたりしていると、分娩後に足のしびれなどの神経障害があらわれることがある。ほとんどが一過性で、2～3ヶ月で治る。

麻酔下での陣痛への影響・・・無痛分娩は陣痛が始まってから行うことはまれ。ほぼ計画的に日にちを決めて行うため、陣痛促進剤を使い人工的に陣痛を誘発する。この陣痛促進剤により陣痛促進剤の効果が強く出すぎて「過強陣痛」になっていても、痛みを感じなくなっていることで、妊婦にはわからず、胎児が強すぎる陣痛で圧迫され胎児機能不全になったり、子宮破裂を起こしたりすることがある。(通常誘発剤使用で過強陣痛になると、強過ぎる痛みで妊婦さんが反応し、医療者側もすぐの対応ができる。)

★ 上記の副作用トラブルを予防対応のために、血圧を自動的に測れる器械を着けられ、持続点滴は必須、排尿のために管を膀胱に入れたままで固定され、胎児の心音と子宮の収縮を常にモニタリングするのにお腹にベルト様の物を取り付けられと、ベットからは降りられない体制になってしまいます。足が麻痺しているので降りなくても大丈夫なんです。足が麻痺しているのに降りなくても大丈夫なんです。足が麻痺しているのに降りなくても大丈夫なんです。

上記の副作用トラブルを予防対応のために、血圧を自動的に測れる器械を着けられ、持続点滴は必須、排尿のために管を膀胱に入れたままで固定され、胎児の心音と子宮の収縮を常にモニタリングするのにお腹にベルト様の物を取り付けられと、ベットからは降りられない体制になってしまいます。足が麻痺しているのに降りなくても大丈夫なんです。足が麻痺しているのに降りなくても大丈夫なんです。足が麻痺しているのに降りなくても大丈夫なんです。



### 硬膜外麻酔下で赤ちゃんを生み出すときは？

無痛分娩では、麻酔薬の影響で妊婦さんがいきむ力が少し弱まるために、器具を使って赤ちゃんを引っ張り出す「鉗子(かんし)分娩」や「吸引分娩」を行う可能性が高まります。

### 麻酔薬の赤ちゃんへの影響はある？

硬膜外麻酔の場合、使用する麻酔薬の量が非常に少ないため、薬が胎盤を通過して赤ちゃんに影響を与える心配はほとんどありません。ただし、麻酔薬の量が通常より多くなると、出産直後の赤ちゃんの音や光に対する反応や運動機能が一時的に低くなるとも言われています。



### 母乳育児への影響

子宮収縮を促し、陣痛を起こす「オキシトシン」というホルモンは、産後の出血予防や母乳の分泌を助ける働きがあります。無痛(和)分娩で使われることが多い陣痛促進剤には、人工のオキシトシンが含まれるため、ママの体内で自然に作られるオキシトシンが減ることもあり、それによって母乳の作られる量が減少するのではないかと考えられています。実際海外の研究では無痛分娩や麻酔薬の使用により、母乳育児をする期間が比較的短くなる可能性があるという報告されています。



オキシトシンは、母乳だけでなく母親の母性行動や母子間の愛着形成に影響を与える愛情ホルモンとも言われています。そのホルモンが減る事は重要な問題であるように思いますが、どうなのでしょう？

無痛(和痛)分娩を選択される場合、リスク面を理解した上で無痛(和痛)分娩を熟知した医師や助産師のいる医療機関を選んで下さい。



## 1月 お灸のうせ

- 6日(木)9:00～12:00 無料おっぱい相談  
野洲兵主コミセン・三宅090-6972-8911まで
- 9日(日)7:00～太郎坊に登る会
- 10日(月)10:30～ベビーマッサージ  
13:30～ヨガ教室
- 11日(火)10:30～マミーハウス汁物100円で提供
- 15日(土)13:30～お産塾
- 17日(月)13:30～バランスボールレッスン
- 19日(水)10:30～産後セルフ整体トレーニング  
13:00～産前セルフ整体トレーニング
- 21日(金)13:30～ハローベビー
- 24日(月)10:00～東近江市・お産子の家  
10:00～彦根・市民交流センター
- 25日(火)10:00～水口町・マルーム和室  
近江八幡市・アクア 1F はちはび広場
- 26日(水)10:00～安土・安土コミセン

### おっぱい情報

### 平和堂無料妊娠出産子育て相談会情報

八日市店・水口店内ベビールーム

